

ガイドライン使用方法

「ガイドライン」は総合的な性教育のための枠組みとなるよう作成されました。従って、新しいプログラムを作成したり、既存のカリキュラムや教材を評価するのに使用することができます。「ガイドライン」が、経験豊富な性教育の教師にとっても、このトピックに未経験の教育者にとっても素晴らしい出発点になると SIECUS は信じています。以下のセクションは、学校や地域の若者のために、「ガイドライン」を使って教育者が質の高い総合的な性教育プログラムを作成するための追加情報、アイデア、および励ましが述べられています。

トピックの優先順位

タスクチームは、若者が性的に健康な大人になるために学ぶべき概念とトピックを盛り込むようにガイドラインを作りました。すべての性教育プログラムが、「ガイドライン」に盛り込まれていた概念、トピック、および発達に応じたメッセージをすべて採用するのが理想です。しかしながら時間、スタッフ、他のリソースについて制限があるため、多くのプログラムがガイドラインにあるすべてのトピックを盛り込むことが出来ないという事を SIECUS はわかっています。

こういった状況にある教育者やカリキュラム開発者は、取り上げるトピックを選ぶことから始める必要があるかもしれません。トピックについての決断は、対象となる若者のニーズと、プログラムに充てられる時間とリソースによることがほとんどです。

教育者は、主要概念やトピックを出発点として使い、スタッフ、両親、子ども達と共に、このリストを絞り込み優先順位をつけます。多くの教育者は、対象となる若者のニーズを自分で観察し、それに基づいてトピックの優先順位をつけます。例えば、若者が生殖に関して誤った情報を広めていたり、人体についての情報が不足しているようだと思えば、教育者は、「重要概念 1：人間発達」のプログラムやレッスンに焦点を合わせます。どのトピックを取り入れるかを決める際に、若者に直接聞くのも役立ちます。以下の練習はグループ教育者、管理者、親、または若者一で行えるように作られています。教育者が既存のカリキュラムを評価するのか、または新しいものを作成するのかに関わらず、この練習は、自分達で話題を選んで、優先順位を決めるのを助けます。

トピックの優先順位を決めるアクティビティー

ファシリテーターは、紙の上に、ガイドラインに示された 39 すべてのトピックをリストアップし、それぞれ点数を書くスペースを残します。参加者一人に一枚ずつコピーを渡し、アクティビティーの最後に最終スコアを集計するため一枚とっておきます。そして、活動の終わりに最終得点を記録する為の用紙を 1 枚準備します。また、グループ皆が最終結果を見ることができるよう、新聞紙大の紙に、同じリスト書きます。

39 のトピックが書いてある紙を各人に与えてください。各個人がトピックにつけられる点数は 15 ポイントで、15 ポイントは、好きなように割り当てられます。1 つのトピックに 15 ポイント全部つけてもいいし、15 のトピックに 1 ポイントずつつけてもいいし、3 つのトピックにそれぞれ 5 ポイントつけてもいいですが、それぞれの持ち点は 15 ポイントのみです。最も多くのポイントを取ったトピックが、優先順位が一番高いことになります。

各人が 5～7 分かけてポイントを決めた後、グループ全体で集計してください。自分が、なぜそのようにポイントを配分したか説明するように頼んでください。各人が発表している間、ファシリテーターは、ポイントがどう配分されているか、またスコアの類似性と相違点に注意してください。

全員がスコアを発表し、結果が集計された後、どの話題が最も高いスコアを取ったかを発表してください。それが、このグループが最も重要であると決めたトピックです。グループに、話し合ってもう一度優先順位を決める機会を与えてください。

補足

「ガイドライン」は総合的なプログラムのための重要概念、トピック、およびメッセージを含んでいますが、カリキュラムではありません。従って、特定の情報が抜け落ちていることがあります。例えば、ガイドラインでは、小学校低学年の子供たちは、「それぞれの身体の部分には、正式な名前と特定の機能があって、女の子や女性は胸、乳頭、外陰部、陰核、膣、子宮、および卵巣を持っています」と学ぶことを提案しています。しかし、それぞれの具体的な機能については、生徒たちや教育者には説明していません。必要であるときは、教育者がこの情報を与える責任があります。

教育者が、既存のカリキュラムを評価するために「ガイドライン」を使っているのか、それとも新しい教材を作成するのに「ガイドライン」を使っているのかに関係なく、性に関する基本的で、正確な情報を持つ事は重要です。こういった参考資料があると、見直しているカリキュラムが、正確で偏見のない情報を含んでいるかどうかを判断する

ことができ、作成しているあらゆるレッスンの基本になります。教育者が、基本情報を評価したり、若者と情報を共有するために利用可能な本やリソースが多数あります。

参考文献

教育者が基本情報を調べ直したり、事実や図を確認したり、質問の答えを求めるとき優れた参考資料となる本や手引書がたくさんあります。教育者は、大学レベルの、人間の性に関する教科書を手に入れるといいかもしれません。こういった本は、分かりやすく情報を紹介していて、未経験の教師にとっても経験ある教師にとっても、価値ある情報源となります。教育者は、女性の健康や避妊といったような特定のトピックについてより詳しい情報がわかる参考資料に興味を持っているかもしれません。いくつかの利用可能な教科書や手引書は以下の通りです。

・ Exploring the Dimensions of Human Sexuality, by Jerrold S. Greenberg, Clint E. Bruess, and Debra Haffner

www.jbpub.com。

・ Our Sexuality, by Robert Cooks and Karla Baur

www.wadsworth.com

・ Our Bodies, Ourselves; Our Bodies Ourselves

www.ourbodiesourselves.org。

・ Contraceptive Technology, by Robert A. Hatcher

www.managingcontraception.com

追加リソースに関しては、SIECUS の文献解題 “Resources for Professionals” (www.siecus.org) を参照するか、SIECUS の Mary S. Calderone Library、電話番号 212/819-9770 までお問い合わせください。

ウェブサイト

また、インターネットも、避妊方法、STDs、および HIV といったようなトピックについての基本的情報や統計などが入手できる重要な情報源です。こういったトピックについての科学的情報や統計は頻繁に変化し、教育者は絶えずこういった情報を更新する必要があります。印刷された刊行物より頻繁に見直され書き換えられるようなトピックについて、ウェブサイトは特に役に立ちます。同時に、インターネットには、不正確で偏っている情報が非常にたくさんあるので、信頼できる情報源だけを使用することが重要です。いくつかの信頼できるウェブサイトは以下の通りです。

STDs

- ・ 疾病対策予防センター、Sexually Transmitted Diseases 部門 www.cdc.gov/std
- ・ 疾病対策予防センター、National Prevention Information Network、CDC 国立センターの HIV、STD、TB Prevention についてのサービス www.cdcnpi.org
- ・ The American Social Health Association
www.ashastd.org

HIV

- ・ 疾病対策予防センター、HIV and AIDS Prevention 部門 www.cdc.gov/hiv/dhap.htm
- ・ 疾病対策予防センター、National Prevention Information Network、CDC 国立センターの STD および TB 防止についてのサービス
www.cdcnpi.org
- ・ サンフランシスコのカリフォルニア大学、エイズ予防研究所
www.caps.ucsf.edu

避妊と妊娠

- ・ 米国家族計画連盟
www.ppfa.org
- ・ United States National Library of Medicine and National Institutes of Health
www.nlm.nih.gov/medlineplus/birthcontrol.html
- ・ Not-2-Late.com; The Emergency Contraception Website
www.not-2-late.com

他のウェブサイトへのリンクは、SIECUS のウェブサイト www.siecus.org を参考にしてください。

若い人向けの本

「ガイドライン」では年齢に応じたメッセージが示されていますが、一語一語読んだり一語一句そのままレスンプランに入れることを想定して作ったものではありません。生徒に情報を提供する場合、どの言葉を使うのが最も良いのかを決めることは、教育者にとって難しいことです。

思春期、恋愛関係、性的指向、および避妊といったような、「ガイドライン」で提言されている多くのトピックについて説明するよう作られた、様々な年齢の若者向けの本がたくさんあります。こういった本を見ると、教育者は、自分の生徒たちの為に最も適切で有効な言葉は何なのかを見つけることができます。

若者のための利用可能な本は以下の通りです

・It's So Amazing: A Book About Eggs, Sperm, Birth, Babies, and Family, by Robie H. Harris

www.penguinputnam.com。

・Its Perfectly Normal: Changing Bodies, Growing Up, Sex and Sexual Health, by Robie H. Harris 07073; 800/788-6262

www.penguinputnam.com。

・The What Happening to My Body? Book for Boys: A Growing Up Guide for Parents and Sons

The What Happening to My Body? Book for Girls: A Growing Up Guide for Parents and Daughters, by Lynda Madaras and Area Madaras

www.newmarketpress.com。

・The Underground guide to Teenage Sexuality, by Michale Basso

www.fairviewpress.org。

・The "Go ask Alice" Book of Answers: A Guide to Good Physical, Sexual, and Emotional Health, by Columbia University's Health Education Program

www.henryholt.com/owlbooks.htm

若者向けの他の本に関しては、SIECUS の文献解題 “Facts on Sexuality-Related Issues for Young People and SIECUS' Annotated Bibliography: Sexuality Education in the Home” (オンライン www.siecus.org) を参照にするか、SIECUS's Mary S. Calderone Library 電話番号 212/819-9770 に問い合わせてください。

地域情報

・「ガイドライン」には、「この学校のセクシャルハラスメント方針は_____です」とか「ほとんどの地域には、問題があった時に誰かと話すことができるように、緊急電話相談があります; 電話番号は_____です」のように個々の学校や地域がカスタマイズできるように、いくつかのメッセージを入れてあります。

こういったメッセージは、若者が地域においてリソースを見つけたり、利用可能なサービスにアクセスしたりするために、特に重要です。教育者は、コースが始まる前に情報を書き込んでメッセージ完成させておくか、また生徒自身がリソースやサービスを調査するリサーチの出発点としてこういったメッセージを使うことができます。

教授法

性教育は、生徒が知識を得、スキルを身につけ、自分の価値を見つけ出せるような様々な教授法を使用して教えられるのが最も良いと、SIECUS は信じています。しかしながら、「ガイドライン」は、トピックに合った教え方のテクニックについて、どの教授

法がいいと勧めたり考えを示したりすることはしていません。教育者が、自身のプログラムを作成するにしても、または既存の教材の評価をするにしても、性について教えるための様々な教授法をよく知っておくことは役に立ちます。教授法に関するいくつかの情報源は以下の通りです。

・ Teaching About Sexuality and HIV: Principles and Methods for Effective Education, by Evonne Hedgepeth and Joan Helmich

www.nyupress.edu。

・ Sexuality Education: Theory and Practice, Clint Bruess and Jerrold Greenberg

www.jbpub.com

他の情報源に関しては、SIECUS の文献解題 Resources for Professionals (オンライン www.siecus.org) を参照してください。

既存のカリキュラムやレッスンの評価

完全版カリキュラム、一つのトピックをカバーしたレッスンプラン、若者によく使われている時間制限のついたテストアクティビティーからビデオや他のクラス教材まで、たくさんの教育リソースが既にたくさん存在しています。

大抵の場合、わざわざ一からやり直す必要は全くありません。性教育専門家が、あらゆる性関連の話題についてのアクティビティーを作成しているのです。こういったレッスンを、さまざまな設定と年齢層に合うように変更して、適応することができます。

すべてのレッスンプランやカリキュラムが同じように作られているわけではありません。教育者は、重要なトピックと概念がカバーされているか、情報は正確で年齢に適しているか、リソースは恐れや恥じを利用したものではないか、しっかりと見極める必要があります。さらに、教育者は、様々な教育手法が使われているか、カリキュラムは文化的に適切であるか、親のかかわり合いを奨励するか否かなどを調べます。最後に、教育者は、カリキュラムやレッスンプランが、有効であると証明された理論やテクニックに基づいているかを確認します。

「ガイドライン」や様々なリサーチに基づいたこういった質問から始めるのが良いでしょう。

トピックとメッセージの評価

「ガイドライン」は、提案された概念、トピック、メッセージの枠組みを提供すること

によって、カリキュラムやレッスンプランを評価するのを助けます。

- ・このカリキュラム/レッスンは6つの主要な概念のどれに当たりますか？
- ・これらの主要な概念のために、提案されたどのトピックが含まれていますか？
- ・これらの主要な概念のために、提案されたどのトピックが含まれていませんか？
- ・カリキュラムやレッスンに含まれているメッセージは、「ガイドライン」に提案されたものに似ていますか？
- ・カリキュラムやレッスンに含まれているメッセージは、「ガイドライン」に従って、年齢相応にできていますか？
- ・「ガイドライン」に示された重要な概念、トピック、メッセージで漏れているものはありますか？

スキルを保証する

性教育の良いカリキュラムやレッスンは、情報提供に加え、多くの重要な技能を学んだり練習したりする機会を若者に提供します。

- ・カリキュラム/レッスンは、若者が自尊心を育てるのに役立ちますか？
- ・カリキュラム/レッスンは、若者が他の情報/支援を見つけるのに役立ちますか？
- ・カリキュラム/レッスンは、若者が批判的分析技能を学ぶのに役立ちますか？
- ・カリキュラム/レッスンは、若者が危険因子を特定するのに役立ちますか？
- ・カリキュラム/レッスンは、若者が意志決定や交渉技能を練習するのに役立ちますか？
- ・カリキュラム/レッスンは、若者がコミュニケーション技能を練習するのに役立ちますか？

正確か適切かをチェックする

カリキュラム/レッスンの情報が正確で最新のものであり、プログラムの対象となる生徒にとって適当であるかを確認することは、重要な事です。

- ・カリキュラム/レッスンにおける情報は、科学的にも医学的にも正確ですか？
- ・情報は最新ですか？
- ・情報は、若者の好みに合っている方法で提示されますか？
- ・グラフィックス、教材、例を含む、カリキュラム/レッスンは、プログラムのすべての若者の、年齢、人種、民族性、性的指向に適切ですか？

恐怖と羞恥心を取り除きます

性教育レッスンの中には、恐怖と羞恥心のメッセージを与えることで、若者の性的行動

を制御しようとするものがあります。恐怖を使用すると、若者の性的活動を遅らせることができるという証拠は全くありませんし、そのようなメッセージは性に関する考えに否定的な影響を与えます。下記のような質問が、「恐怖感」に基づいた教材とはどんなものか、またどうやってそういうものを避けたいかを教えてください。

- ・カリキュラム/レッスンは、結婚前の性的行動が必ず妊娠、STDs、罪悪感、悪い恋愛関係、他の否定的結果につながると言っていますか？
- ・カリキュラム/レッスンは、性的行動をした学生を問題があるとか、尊敬に値しないとかが言っていますか？
- ・カリキュラム/レッスンは、性/性的行動を、若者がコントロールすることができないものだと言っていますか？
- ・カリキュラム/レッスンは、既婚者にとって STD s や望まない妊娠は問題ではないと断言していますか？

うまくいっていますか？

どの教育プログラムでもそうですが、プログラムが成功しているかどうか絶えず評価するのは重要です。研究によると、禁欲や妊娠、病気の予防を教えるプログラムが、性的に盛んな若者の、性交年齢を遅らせ、性交の頻度を減少させ、パートナーの数を減少させ、コンドームと避妊具の使用を増加させるとわかりました。効果的なプログラムのタイプは異なりますが、有名な研究者の Doug Kirby は、効果的なプログラムが持つ 10 の特性を特定しました。

効果的なプログラム

- ・望まない妊娠や HIV/STD 感染につながる、一つまたは一つ以上の性的行動に焦点を合わせます。
- ・他の健康関連の行動に影響を与え、ターゲットとされる重要な性的前例を特定することができた、理論的アプローチに基づいています。
- ・性的な活動を慎んだり、コンドームや他の避妊を使用することに関し、明確なメッセージを一貫して伝え、強調します。これは、効果があるプログラムと効果がないプログラムを分ける、最も重要な特性の 1 つです。
- ・ティーンエージの性的行為に関するリスク、性交を避ける方法、妊娠と STDs を防ぐ方法等、基本的で正確な情報を提供してください。
- ・性的行動に影響を及ぼす社会的圧力を扱うアクティビティーを入れてください。
- ・コミュニケーション、交渉、拒否するスキルについての例を示したり、練習させてください。
- ・参加者が参加できる教授法を使い、参加者に独自の情報を持たせるようにして下さい。
- ・生徒の年齢、性的な経験、および文化に適切な行動におけるゴール、教授法、教材を

取り入れてください。

- ・十分な時間を使って下さい（2，3時間以上）。
- ・プログラムを信じる教師やピアリーダーを選んで、適切なトレーニングをしてください。

上に詳しく説明された評価基準を満たす、既存のカリキュラムやレッスンプランをまとめたものがあります。単に、学生やプログラムに、正しいカリキュラムを釣り合わせるということです。

利用可能な性教育カリキュラムとレッスンプランのリストに関しては、SIECUS の文献解題 “Sexuality Education Curricula” を参照するか、SIECUS’s Mary S. Calderone Library 電話番号 212/819-9770 に問い合わせてください。

カリキュラム評価ツール

教育者やカリキュラム評価委員会は、大規模なプログラムの評価またはカリキュラムの長所と短所の比較を行う役割を担います。個人個人が、それぞれのカリキュラムを詳細にわたり調べる必要があります。このような、しばしば気力を失わせるような作業を助けるため、SIECUS は、「ガイドライン」に基づく以下の評価ツールを作成しました。コピーして、記入できます。

カリキュラム.....
出版元/配給元.....
住所.....
.....
電話..... Fax.....
E-mail
値段.....
出版年月日.....
改訂年月日.....
対象となる学年.....
レッスンの回数.....

| 概念とトピックの範囲 | | | | | |
|---------------|------------|---|-----------------------------------|---|--------------|
| 主要概念 | 1 主要な強調 | 2 | 3 扱われているが、 主要な点とはさ れていない | 4 | 5 扱われていない |
| 発達 | | | | | |
| 性と生殖のしくみと生理 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 思春期 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 生殖 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ボディーイメージ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 性的指向 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ジェンダーアイデンティ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 関係性 | | | | | |
| 家族 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 友達 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 愛 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 交際 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 結婚と義務 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 育児 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 個人のスキル | | | | | |
| 意思決定 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| コミュニケーション | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| アサーティブネス | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 交渉 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 助けを得る | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 性行動 | | | | | |
| セクシャリティ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 自慰 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 性行動の共有 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 禁欲 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 性反応 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

| | | | | | |
|--------------------|---|---|---|---|---|
| 性的妄想 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 性機能不全 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 性的健康 | | | | | |
| リプロヘルス | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 避妊 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 妊娠と妊娠 前のケア | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 中絶 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| STD | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| HIVと AIDS | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 性的虐待、 強要、ハラスメント | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 社会と文化 | | | | | |
| 性と社会 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ジェンダー 役割 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 性と法律 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 性と宗教 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 多様性 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 性とメディア | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| セクシャリティーと 芸術 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

禁欲と安全なセックス

カリキュラムでは、禁欲の恩恵について探求している。

カリキュラムでは、恐怖や羞恥心に頼らない禁欲を示している。

カリキュラムは、禁欲と安全なセックスについてのメッセージとのバランスを取っている。

カリキュラムでは、妊娠、親になること、および養子縁組について話すとき、妊娠中絶についても議論している。

コメント:

恐怖心や羞恥心に基づいたメッセージ

カリキュラムでは、性的行動が、常に、またはほとんど常に、以下の事をもたらすことがあると示している。

STDs

妊娠

悪い恋愛関係

罪

他…

カリキュラムは、性的行動を行なっている学生に対し軽蔑的な言葉を使う。

カリキュラムは、性を、若者がコントロールすることができない力として示す。

カリキュラムは、STDs や望まない妊娠が、決して結婚している夫婦にとって問題にはならないと断言する。

コメント:

正確さと関連性

情報は科学的に正確である。

情報は最新のものである。

情報は若者の好みに合う方法で提示されている。

情報、グラフィックス、教材が、対象となる集団を表している。

Comments:

教育戦略

どの教育戦略が使用されていますか? (適用されるすべてをチェック)

ケーススタディ 小集団活動 ブレインストーミング ロール・プレイ

全体のグループワーク/大きい集団討議 宿題 ジャーナル ワークシート

講演 匿名の質問箱 視聴覚教材 地域のゲストスピーカー/関わり合い

ピア教育 親/保護者との関わり合い

その他

どのスキルが扱われていますか、また教えられていますか? (適用されるすべてをチェックします)

自尊心の形成 他の情報源/助けの特定 批判的な分析 危険因子の特定

意志決定 コミュニケーション 交渉 性的な限界設定 ピアの拒否

ピアの圧力 パートナーの圧力 メディアの圧力 メディアリテラシー

避妊/コンドームの入手のしかた 避妊/コンドームの使用法

その他

カリキュラムは、良いバランスで、若者が知識を得て、自分の態度を見直し、健康な振舞いをするのを助けます。

コメント:

文化的な配慮

- カリキュラムは、多くの人種的、民族的グループについて例で示したり、絵およびイラストを含んでいる。
 - カリキュラムは、対象となる地域の文化的、民族的価値、習慣、および慣習を考慮に入れている。
 - カリキュラムは、ジェンダーに関するステレオタイプな言及やイメージを含んでいる。
 - カリキュラムは、人種/民族性に関するステレオタイプな言及やイメージを含んでいる。
 - カリキュラムは、家族タイプに関するステレオタイプな言及やイメージを含んでいる
 - カリキュラムは、性的指向に関するステレオタイプな例やイメージを含んでいる。
 - カリキュラムは、年齢に関するステレオタイプな言及やイメージを含んでいる。
 - カリキュラムは、能力に関するステレオタイプな言及やイメージを含んでいる。
- コメント:

親の関わり合い

- カリキュラムは、学生が自分の両親と性について議論するのを奨励する。
 - カリキュラムは、同様のカリキュラムを親に提供する。
 - カリキュラムは、家庭での議論を含む課題を学生に与える。
 - カリキュラムは、親ができなければ、他の信頼できる大人達と話す事を提案する。
- コメント:

他の考え方

- カリキュラムは、基礎となる価値観を明示する。
 - メッセージは年齢に適切である。
 - カリキュラムは、適切な補助教材を推薦する。
 - カリキュラムは、評価部分を含んでいる。
 - カリキュラムは、トピックを他の教科に組み入れるためのガイダンスを提供する。
 - カリキュラムは、社会的な活動/ボランティア活動を奨励する。
 - カリキュラムは、避妊手段を取らない性行為に反対する明快な価値感を強化する。
 - カリキュラムは、社会が行動に与える影響を認識する情報を含む。
 - カリキュラムは、集団の規範を変えることについての練習を含む。
 - カリキュラムは、アクティブな学習法を使っている。
- コメント:

STDs/HIV チェックリスト

教育者は、カバーする特定のトピックに関するレッスンを見直すために、簡単な評価ツールやチェックリストを作成すると役に立つかもしれませんが。チェックリストは、教育者がリサーチして見つけた追加情報や、ガイドラインのサブコンセプトや発達レベルに応じたメッセージに基づいて作成します。

下記は STDs/HIV に関するチェックリストです。これは教育者や学校の職員が既存の STD/HIV 防止プログラムを評価したり、またトピックに関して新しいカリキュラムや教材を作成するのに助けるために William Yarber が作成した、もっと大規模のチェックリストから取ったものです。Yarber 博士は、インディアナ大学の応用健康科学の教授であり、エイズ/STD 予防の地方センターの専務理事です。また、Yarber 博士は「ガイドライン」タスクチームのメンバーでもありました。

チェックリストは、STD/HIV 防止カリキュラムに不可欠のトピックを含んでいて、それぞれのトピックの基本概念を示します。特定の、発達レベルに応じたメッセージは含まれていません。STDs/HIV についての他の研究と同様に「ガイドライン」に基づいています。STD/HIV 防止カリキュラムを評価する教育者は、自分の地域が使用していたり、使用しようと考えているプログラムが、完全で正確になるように、ガイドラインのメッセージと共にこのチェックリストを使用することができます。

STD/HIV に関する問題

「隠された」STD の爆発的感染

STDs は合衆国で最も一般的に報告されている感染症ですが、隠されている場合が多く、患者数は低く見積もられており、個人や社会に否定的影響を引き起こす事があります。

STDs

HIV/エイズを含む、25 以上の STDs があり、多くがティーンエイジャーに特定の影響力を持っています。

問題の規模

STDs は、合衆国においても世界的にも蔓延しています。

STDs/HIV を持つ人々

十分なサービスを受けていない地域や有色人種の地域に住む個人が、偏って STD や HIV の影響を受けますが、STD 感染はすべての地域や人口グループで起こります。

STDs/HIV によって引き起こされる問題

STDs/HIV は、人生、人間関係、経済、研究、ヘルスケア、および防止の努力に影響を与えます。

STD/HIV 流行の理由

STD/HIV の流行は、人が治療を受けるのを妨げる社会的、経済的、感情的障害だけでなく、不十分な教育、健康管理、社会のサポート、経済的、そして感情的なバリアにより悪化させられます。

STDs/HIV の伝染

STD オーガニズム

STDs/HIV は体液のなかで見つけられ、個人は同時に、1つ以上の STD を持つことが可能です。

STDs/HIV の性的感染

STDs/HIV は感染者との接触で引き起こされます。膣や肛門およびオーラルセックスはすべて危険を伴います。

性的な関係

パートナーの選択によって、STDs/HIV 感染の危険が増加します。

STDs/HIV の血液による感染

血液から血液への感染は STDs/HIV の感染で 2 番目に多い方法で、感染者と針を共有する、入れ墨を入れる、またはピアスをするなどの行為をする人や、医療従事者はリスクが高いです。

母子感染

妊娠や母乳育児により STD や HIV が母から子供に移る事がありますが、母子感染の危険を減少させる医療措置を受けることが可能です。

STD の感染は HIV のリスクを増加させます

STD に罹っている人は HIV に罹るリスクが増え、HIV と STD に罹っている人は HIV を移すリスクが増えます。

性行為や薬物使用に関係ない STD 感染

STDs/HIV は、カジュアルな非性的接触では移りません。

STD/HIV の防止

性的な欲望は自然なものですが、禁欲や性交を遅らせることは意味があります。

性的な交際相手を限定する

性的な交際相手を限定することは意味があります。性的な交際相手を限定することは、結婚以外でも可能です。

コンドームの使用

コンドームは、STDs/HIV の普及を防ぐのにおいて有効です。個人は、コンドームをいっとうやっけて使用するか学ぶべきです。

慎重なパートナー選択

性的パートナーを注意深く選ぶことは、STDs/HIV のリスクの高い人との接触を避けるのに役立ちます。

注射器による薬物使用や他の方法による薬物使用を避ける

注射による薬物使用は、STDs/HIV のリスクを高めます。人は、薬物を使用しなければならないというプレッシャーを見極め抵抗することができます。

ワクチン

B 型肝炎はワクチンがある唯一の STD ですが、現在、HIV と HPV のためのワクチンを作る努力がされています。

他の防止方法

リスクの少ない行動をする、血液、精液、または膿液との接触を避ける、そして、適切な出産前検診を受けるなど、STD/HIV の感染を防ぐために個人ができることがたくさんあります。

防止を他のものに伝える

コミュニケーションは、STD/HIV 防止のために必要な要素です。そして、個人個人、性関連の問題に関するコミュニケーションを改善する方法を提案することができます。

友人を賢明に選ぶ

予防やリスクを減らす行動を支持する友人は重要です。

自分の健康や他人の健康に責任を持つ

責任あるロールモデルとなること、正確な情報、

STDs/HIV の認識

STDs/HIV の症状

STDs/HIV には、症状が全くない場合もあるし、または他の感染の症状と似ているかもしれません。感染したかもしれないと思ったら、STDs/HIV の症状がないか気をつけ、迅速に診断を受けます。

STD/HIV を疑ったら何をするか

STD/HIV の症状があると思った人は、性的接触を持つのを止め、注射針の使用や共有を止め、迅速に診断を受け、パートナーにも検査を勧めます。

STD/HIV の検査と治療

STD/HIV 検査とカウンセリング

STD/HIV リスクの高い行為をした人は、STD/HIV の検査やカウンセリングをしたほうがいいかもしれません。

若者のための検査と治療

健康問題に直面している若者は、両親や他の信頼できる大人達と話す必要があるかもしれませんが、親の同意なしで検査と治療を受けることもできます。

医療機関での受診

多くの異なったタイプの検査と治療があります。自分にとって最も良い方法は何か、医療サービス提供者と話すべきです。

STD/HIV の治療

HIV など、完治しない STD もありますが、多くの STD には治療法が存在しています。

STDs/HIV の人へのサポート

STD/HIV に感染している個人は、家族や友人のサポートを必要としており、またサポートグループや他のリソースを見つけることもできます。

パートナーの STD/HIV 検査や治療

パートナーに受診を薦めることの重要性

パートナーに検査や受診を薦めることで、その人の健康を保護し、再感染を防ぎ、

STDs/HIV の拡大を減少させることができます。

□パートナーに検査と治療を受けさせる方法

公衆衛生の専門家と医療サービス提供者は、個人が検査と治療の必要性についてパートナーを促す、最も良い方法を定めるのを助けることができます。

追加情報または STD/HIV チェックリストの完全版が必要な方は、SIECUS 212/819-9770 までお問い合わせください。

新しいカリキュラムとレッスンの作成

教育者やカリキュラム開発者の中には、新しいカリキュラムやレッスンを作成したいと思う人もいるかも知れません。「ガイドライン」は、そういった場合もお手伝いができます。最初の作業は、対象学生のニーズ、時間、スタッフ、リソースをどのぐらい使えるか、などに基づいて、プログラムはどういったトピックを扱うかを決めます。(どのように行うかに関しては、79 ページの「トピックに優先順位をつける」を見てください。)

セッションの数、時間をどのぐらい使えるか、と同様に選ばれたトピックの数を基に、教育者やカリキュラム開発者が作る必要のあるレッスンの数を決めます。所定のセッションで学生が吸収できる情報量の限界を知っておく事は、重要です。1つのセッションにあまりに多くのトピックを詰め込むのは有効ではありません。

学習ゴールと目標

次のステップは、計画されている各レッスンのためにゴールと学習目的を設定することです。ゴールは、トピックのための枠組みとレッスンのための大まかな方向性を規定します。ゴールは、レッスンが何について教えるか、何を説明するか、何を議論するかを、記述します。「ガイドライン」の各トピックに記載されたサブコンセプトは、ゴールを作成するための出発点となります。例えば重要概念 3「対人関係のスキル」の中のトピック 4 はアサーティブネスです。アサーティブネスについてレッスン・プランを作成している教育者は、アサーティブネスについて調べて、「アサーティブネスとは他人の権利を尊重する一方、自分の気持ちやニーズを伝えることです」ということを教えます。

ゴールが設定されると、教育者は、若者がレッスンから何を学ぶかに焦点を当てた特定の学習目標を立案する必要があります。多くの教育者は、学習目標が 4 つの基本的なカ

テゴリーに入ると考えるといいかもしれません。所定のレッスンで、学生は新しい知識を習得し、思考技能を高め、精神運動技能を身につけ、態度、価値観、感情を変えるを学びます。

それぞれの重要な概念に記載されている行動は、教育者が大まかな成果の指標を作成する助けになります。行動とは、学生が情報と技術を適用した後でできるようになった行動を反映している指導の結果です。

「ガイドライン」の発達レベルに応じたメッセージは、教育者が特定のトピックについての学習目標を立案するのを助けます。例えば重要概念3「個人的な技術」トピック3はコミュニケーションです。コミュニケーションについて中学生(レベル3)のためのレッスンプランを作成している教育者は、「ガイドライン」の中の発達に応じたメッセージを使って、以下の学習目標を立案するでしょう。

このセッションの終わりまでに:

- ・学生は、コミュニケーションを高める3つの行動が出来るようになる。
- ・学生は、コミュニケーションを損なう可能性がある3つの行動が特定できる。
- ・学生は、言語的、非言語的コミュニケーションが、個人、家族、性、文化的バックグラウンド、状況により異なった意味があるかもしれない、という事についてじっくり考えることが出来るようになる。

「ガイドライン」の中の発達レベルに応じたメッセージのすべてが、学習目的になる必要もないし、そうなるとはかぎりません。教育者とカリキュラム立案者は、地域の若者に伝えたいと思う情報とスキルにもう一度優先順位をつけなければならないでしょう。加えて、発達レベルに応じたメッセージは互いに重なり合っており、教育者は、1つの学習目標にいくつかの関連するメッセージをカバーするのが、より簡単で効果的であると思うかもしれません。

教授法

レッスン・プランを作成するための最終的なステップは、どの教授法がそれぞれのトピックのために最も良いかを定めることです。この決断は、利用可能な時間やリソース、教育者の快適度、ニーズ、および生徒の能力により決まります。若者が情報を受け取るだけでなく、自身の態度や価値観を見つけ出して、社会的スキルを身につけ強化する機会を与えられたとき、性教育が最も効果的であると SIECUS は信じています。対話的な議論、ロールプレイ、デモンストレーション、個人およびグループ研究、グループエクササイズ、および宿題などの、多彩な教授方法やアクティビティーが学習を促進します。

評価

教育者やカリキュラム立案者が独自のレッスンを作成したときも、それが重要なトピックや概念を確実にカバーするように書かれていたとしても、レッスンを見直して、正確であるか、年齢に適切であるか、恐怖心や羞恥心に基づいていないかを確認することは役に立ちます。教育者は、カリキュラムやレッスンが、有効であると証明された理論やテクニックに基づいているのかを確認するといいいでしょう。（どのようにするかに関しては、84ページの「カリキュラムの評価」をご覧ください。）

翻訳：新野